

成人脊柱変形 Up to Date が特集号となった。

「成人脊柱変形」の疾患概念がわれわれに浸透し始めたのは、2011年SRSでSchwabが骨盤パラメータを使用して矢状面アライメントを中心とした成人脊柱変形分類を発表してからであろう。脊椎疾患を全脊柱矢状面アライメントから判断する画期的な分類であった。また、矯正目標値、PI-LL>10といった簡便でイメージしやすいアライメント指標を示したことはわれわれ脊椎外科医に大きなインパクトを与え、そして多くの脊椎外科医がこの目標を目指して、多種多様な脊椎骨切り術を習得し、そして脊椎矯正固定を行ってきた。あれから10年が経過し、途中で脊椎前側方アプローチで巨大なケージを入れて矯正するLLIFの手技や、経皮的に矯正固定をする手法も取り入れられ、侵襲をできる限り少なくして、目的とする脊柱アライメントまで矯正固定する手技や工夫がなされてきた。

長大な胸椎から仙椎腸骨固定で至適なアライメントが得られ、歩行や姿勢は改善し、精神的ストレスも改善するなど獲得するものも大きい。脊椎不撓性から生じる日常生活上の困難さ、たとえば靴下や靴を履く、トイレでお尻を拭いたり、床に座ってあぐらをかくなどの動作が困難になる。また、PJK、DJKそしてロッド折損が高率に生じて再手術も多く行われている。

本特集号では、成人脊柱変形の疫学と自然経過、そして術前術後のQOL、また最新のナビゲーション、ロボット手術の現状なども論述されている。

この10年に成人脊柱変形に対するアプローチは大きく変わった。また多くの経験のもと、リスク回避の方法もわかってきた。さらにはリハビリテーションの重要性についても言及できるようになった。格段の進歩を感じる。この進歩をすべて網羅して執筆されたのがこの特集号であり、大変読みごたえのある特集号となっていると思う。購入して損したと思う方はいないであろう。

(松山幸弘)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素磨 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

山崎正志 (編集委員長)
金 彪 (副編集委員長)
亀山 隆 園生雅弘 高橋敏行
谷 論 筑田博隆 永島英樹
中村雅也 根尾昌志 原 政人
飛驒一利 堀 正明 松山幸弘

Vol. 34 No. 11
(2022年3月25日発行)

毎月1回25日発行

1部定価 (本体5,800円+税)

(配送料別)

年ぎめ予約購読料 33,300円+税

送料弊社負担

発行/株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷6-17-9

本郷綱ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

(担当: 山岸)

印刷所/三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所/

(株)文栄社

TEL 03-3814-8541

(株)ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2022,
Printed in Japan

JCOPY (出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前、出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。